

# 学校だより 月報 3月号

出雲農林高校  
PTA

驚きと発見！もう一度行きたい！

ウズベキスタン国際貢献旅行参加生徒の報告

目指せスペシャリスト研究指定校の教育活動のひとつとして、このたび教員三名と生徒六名によるウズベキスタンの国際貢献旅行が実施されました。ある学校では赤い絨毯を引いて歓迎されるなど先々で、歓待を受け、サクラヤアカシアの植樹や実習への参加など交流活動を行い大きな成果を上げ帰国しました。生徒の帰国直後の声をお聞きください。



大理石ダイアまで・・・

二年 食品科学科 田村美加  
タシケントやサマルカンドは歴史的建造物が多くあり、なかでもシャーヒスインダ廟などは特に印象に残りました。侵略者によって盗まれてしまったそうですが、昔はダイアなども埋め込まれていたそうです。

ウサギの去勢手術を体験！

二年 動物科学科 蔵本洋之  
獣医科のあるサマルカンド農業カレッジ(高校)の訪問では、急ぎよ実習に参加することになり、白衣を着て現地の高校生とともに去勢手術をしました。手術が終わると拍手をもらいそのまま留学したらと勧められました。とても印象に残る訪問になりました。

歌のプレゼント！

一年 環境科学科 杉谷奈巴  
日本語の授業を行っているタシケントスクールの訪問では、日本の童謡「ちゅうりっぷ」を小学生がとて

甘いのが大好き！

二年 食品科学科 山根一美  
サマルカンドのお菓子は、バター・砂糖・生クリームを使ったこりり味のクリームが特徴でした。また、ウズベキスタンのほとんどのお菓子には、カカオと砂糖が入っているそうです。バザールでは味見をして購入することができました。

柔道とボクシングで世界！

一年 環境科学科 小川宏和  
五日目にスポーツカレッジを訪問しました。ここでは、さまざまなスポーツを学ぶことができ、陸上トラックなど施設も充実していました。ナショナルチーム参加の道も開かれており、ボクシングと柔道で大きな実績を上げているそうです。

サインを求められ・・・

二年 食品科学科 中島俊介  
ウズベキスタンの学校訪問では、さまざまな歓迎を受けました。そして、写真を撮られたり、サインを求められたり、今までにない体験をしました。今回の旅行をきっかけに、今後日本の良さをいろいろ全国の人達に伝えていきたいと思いた。

サマルカンド農業学校にてウサギの去勢を実演する蔵本君



国際貢献旅行日程(3月3日から8日)

3(金)	午後、関空出発。夜、到着
4(土)	サマルカンド市内見学(バザール、ピビハミムモスクなど) サマルカンド農業学校視察および植樹
5(日)	サマルカンド見学(グーリアミール廟、アフラシャブの丘) タシケントへ移動、市内見学(博物館、ナポイ劇場、バザールなど)
6(月)	日本大使館表敬訪問、JICA 日本センター見学 キプライ農業学校訪問、植樹。
7(火)	タシケント農業学校訪問、植樹。コルホーズ見学。 ウエイトリフティングクラブ訪問。市内観光
8(水)	朝、タシケント出発。夜、関空到着

## 卒業生代表の答辞

学校長 佐野明

今年も三月一日に卒業式を行いました。昨年の春に下 桜咲き高校生になりました、「うれしいな桜舞う中登校中」と詠んだ一年生や二年生は、どのような気持ちで卒業生代表答辞を聞いたでしょうか。

答辞は充実した高校生活を語り、感謝の気持ちを伝え、在校生の皆さんに干渉を送っていました。

「...私達はぶつかりながら、励まし合い仲間との絆を深めていきました。そして過ぎ去っていた日々の高校生活の中で、少しずつしかし確実に成長していくことができました。...気がつけば、卒業したくないと思うほどに、出農高が大好きになっていました。これも全て皆様に出会ったからです。この三年間の全ての出会いに私は感謝します。...在校生の皆さん、本校で様々なことを思い、考え、行動し、悔いのない学校生活を送ってください。...」

## 4月の行事予定

日	曜	項 目
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	制服渡し日(11:00~13:00)
8	土	
9	日	
10	月	新任式、始業式、課題テスト、入学式準備
11	火	入学式(10:00~)
12	水	
13	木	1年宿泊研修(~15)、ハレ-中国予選(本校)
14	金	農業教育会評議員会(本校)
15	土	2・3年生登校日
16	日	出雲市WL大会(本校)
17	月	代休
18	火	
19	水	心電図・血液検査(1年生、午後)
20	木	内科検診
21	金	結核検診(1年生、午後)
22	土	花と緑のフェスティバル(出雲ドーム~23)
23	日	第1回PTA評議員会、学校評議員会
24	月	
25	火	3年生遠足
26	水	
27	木	農ク県連総会(本校)、内科検診
28	金	眼科検診(1年、2・3年生は希望者)
29	土	みどりの日
30	日	WL県選手権

SC: スクールカウンセラー WL: ウェイトリフティング

この月報は[www.shimanet.ed.jp/lzuno/](http://www.shimanet.ed.jp/lzuno/)でも見られます



タシケントの青空市場

「あじさいはすごいですね  
トラえもんさんより寄稿」

理科の先生方の研究会でも教室に入ってきた先生方に、全員があじさいをしたことに、本校の先生が感激しておられたようです。

## 友達が一番

二年保護者 原 紀代美

一年前の四月、娘はこの出雲農林高校に入学しました。私は親として、娘以上にいろいろなことを考えてしまいました。新しい友達を早く作り、自分がやりたいことに何でもチャレンジし、この学校が楽しくなることを願っていました。今ではこの通り、何よりも友達を大切にする娘になっています。学校では、生徒会もやっていて、一日一日が楽しい様です。また、良い先生方にも出逢えて嬉しく思っています。



勉強はもちろんですが、娘にとっては友達が一番の様に思います。家でも、沢山の友達の名前が出てきます。自分の気持ちを何でも話してくれる娘が私は大好きです。一年間は本当にあつという間でした。四月からは三年生。自分自身の進路を決める時期になります。よく自分をみつめて考えてほしいと思います。私も精一杯応援してやります。

## 特別寄稿

### ちよつといい話

先週の金曜日は、合格発表や県外の高校からの学校訪問そして出雲地区の理科の先生方の研究会と多くの方が本校を訪問されました。午後は長野県の農業高校から四人の先生方がこれら農場を案内しました。ちよつと二年生の総合実習の終わりの頃で多くの生徒が実習をしていました。植物科学科の実習室の前を通りかかったところそこにいた十数名の生徒が一斉に「こんにちわ!」とあいさつをしました。ごく当たり前の光景ですが、長野県の先生には新鮮に写ったよつで、何で生徒がこんなに明るいですか?と質問をうけました。

そこから、動物広場を案内する中でも、当番の動物科学科二年の男子生徒が「こんにちわ」と明るくあいさつしてくれました。このことにもびっくりされたようでした。「うちの生徒なら萎縮して何もいわないだろう」と訪問された先生方で話しておられました。

さらには牛舎を案内しました。ここではプロシエクトでワインの搾りかすを出している生徒に長野県の先生が話しかけられたところ、きちんと対応したのでしよう(何を話したかは私には分かりませんが)その先生は、「さっきの子に質問したら、大人と会話するよつにきちんと話してくれた」と先生同士で、ひそひそと話しているところを私はダンボのような耳をして聞き逃しませんでした。すばらしい!!

## 努力が開くあなたの進路

進路指導部長 野崎 浩之

3年生Aさんの取組みについて紹介したい。Aさんは調理師を目指し本校の食品科学科に入学し、専門の勉強を深めてきました。就職試験シーズンになり、県内に自分が求める求人がなかったので県外の日本料理専門店を受験し、見事合格しました。しかし、この合格には、左手での箸や包丁の操作を右に変えることという条件が付いてきました。料理の盛りつけの際に左利きでは不都合が生じることが理由なのだそうです。Aさんは左利きのため、箸や包丁も左手を使っていましたが自分の将来に向け、右で操作できるよう取組んでいます。このAさんは早くに将来の目標を持っていました。そのため、一つには、学校の中のすべての学習(授業に限らず部活や委員会活動など)を自分の将来に関連づけ自分の能力を高めることができました。また、困難が生じて、引くことなく意欲的に取組むことができました。さらには、自分の視野を広げることができました。是非、Aさんに続いてほしいと思います。

## 編集後記

桜の花のつぼみも少しずつふくらみ始めています。春はすぐそこまで来ていますね。春は別れと出会いの季節です。三月一日には卒業生を送り、この度の異動で十名の教職員が本校を離れることになりました。また十七日には来年度の新入生の合格発表がありました。新年度にむけて少しずつ動き始めています。今年度から月報という形で本校の様子をお知らせしていますが、来年度も生徒たちの頑張る姿やPTA活動について情報発信していきたいと考えております。本誌につきましてもご意見などありましたら連絡下さい。